

大切なこと

広島県

広島己斐道場

中学3年 井上 あかり

ある先生が指導される中で

「徳を積む。」

という言葉をよく口にします。「徳を積む」とは良い行いを重ねることです。どれだけ徳を積む行動ができたかが大切な試合・場面での勝敗を分けることになる、その先生はおっしゃっていました。初めてこのことを知った時、自分に足りないことはそのような行動なのだと強く感じたことを覚えています。

この時から、私は日々の生活の中で、道に落ちているゴミを拾う、トイレのスリッパをそろえるなど自分なりの徳を積む行動を気づいたら必ず行うようにしています。この日々の積み重ねは素振りや筋トレと同様で大切な試合・場面で勝ち抜くための努力だと捉えて、取り組んでいます。この行動を始めたばかりの時は少し大変でつい、「めんどくさい」と感じ、諦めてしまいそうになりました。でも、その度に自分の弱さを自覚し、行動に移しています。今思うと、今までの試合の中、自分が勝たないといけない場面で負けてしまったことや実力はあまり差がないように感じる相手に負けてしまったことなどは全て、楽な方を選んでしまう、「自分の弱さ」が原因だったのだと思います。だからこそ、日常生活の中で「めんどくさい」と思っても、その思いと向き合い、勝つことで、大切な試合・場面で自分に負けられないことができるのだと思います。それに、今まで勝ったことのない相手に勝つことができたり、小さな達成感を感じると、

「あの時の行動のおかげかな。」

と思えました。自分の行動に自信を感じられましたし、もっと行動を続けようと前向きになれます。

それに、このような行動をしていると、うれしいことがあります。初めは、

自分のためにしていた行動でも、「ありがとう」と言って頂けたり、私の行動を真似して後輩達が手伝ってくれるのです。後輩が手伝ってくれた時は、

「もっと、見本となる行動を意識しないといけないな。」

と自分の行動を見つめ直すきっかけになります。何より、徳を積む行動は、世代を越えて受け継がれることを実感する機会となりました。

そして、私がもう一度伝えたいことがあります。それは、「大切な試合・場面で勝つためには」ということです。正直、どれだけ稽古をしても、何本素振りをしてしても必ず勝てる保証はないと思います。私は、大切な試合の前、どれだけ稽古や素振りをしていても安心できません。なので、剣道をしていない時の自分の行動もいつも以上に意識して過ごします。そのような意識、「徳を積む行動」がより勝利に自分を近づけてくれると考えているからです。

日常生活の中には、「徳を積む行動」のもとがあふれています。その全てを行動に移すのは難しいかもしれません。だけど、できるだけ多く行動に移したいです。ただ普通に過ごし、めんどくさいことから逃げ、楽な方へ流れていくことは簡単です。実際、「これも剣道に繋がる」と感じると少し考え過ぎて、気が休まらず、辛いこともあります。けれど、勝てた時の喜びはそこまでしてきた努力の質・量に比例すると思います。そして、そこまでしても勝ちたいと思う強い気持ちがある選手が大切な試合・場面の極限な状況で勝利を手にすることができるのです。

これから剣道を続けていく上で、大切な試合・場面は増えていくことでしょう。その中で勝利を手にするのできる選手になりたいです。私は、日々の積み重ねを糧に剣道を頑張り続けます。